

# 2万筆の署名を福島県に提出しました



- 16年11月  
被曝と帰還の強制反対署名スタート
- 17年1月13日  
第1次署名提出・申し入れ（3千筆）
- 17年2月16日  
第2次署名提出（7千筆）
- 17年3月11日  
3・11反原発福島行動
- 17年3月30日  
第3次署名提出（1万筆）
- 17年3月31日  
避難者追い出し反対！都庁デモ
- 17年4月1日  
常磐線・浪江開通抗議行動



26,531筆（4月28日現在）



## 福島県への申し入れ書（17年1月13日提出）【要旨】

### ●甲状腺検査縮小に反対します

- (1) 小児甲状腺がんを早期発見し早期治療するため、甲状腺検査の継続を求めます。
- (2) 検査については真摯に実施し、データを誠実に公表することを求めます。
- (3) 小児甲状腺がんの多発について、原因の究明と予防対策に取り組むことを求めます。
- (4) 県民健康調査の対象からはずされている、一般診療にまわされた子どもたちのデータも含めて、すべてのデータの開示を求めます。
- (5) A判定でも継続して検査を受ける必要があり、受診を呼びかけるよう求めます。
- (6) 手術症例や術後の経過など、患者として一番知りたい情報の開示を求めます。
- (7) 検討委員会において「(甲状腺がんは) 予後がいい」「生存率は100%」と発言し、がんの早期発見の意義を否定する津金委員を解任するよう求めます。
- (8) 「放射能の影響とは考えにくい」と言い続けるための第三者機関設置を認めず、検討委員会に県民が参加できるよう求めます。

### ●避難指示解除と帰還の強制に反対します

- (1) 福島県民だけが年間20mSvシーベルト基準を適用されることは認められません。空気、水、食料が汚染されているところに現時点で避難指示を解除して帰還させることは命を危険にさらすものであり、ただちにこの政策を中止するよう求めます。
- (2) 自治体職員、教職員やその家族などに職務命令として帰還を強要することは人権上許されません。無用な被曝を強制しないことを求めます。
- (3) 帰還政策をただちに停止すること、原発の管理を東電に委ねている現状の変更を求めます。

### ●避難者への住宅支援打ち切りに反対します

- (1) 住宅支援の打ち切りを停止し、避難者支援をより充実させることを求めます。
- (2) 県職員が避難者家族に帰還を迫る、脅迫にあたるような行為を即刻やめさせるとともに、職員に業務として非人間的な行為をさせることのないよう求めます。

## 事故当時4歳児から新たに小児甲状腺がん

— 県民健康調査以外で発見されたがんはカウントしない —

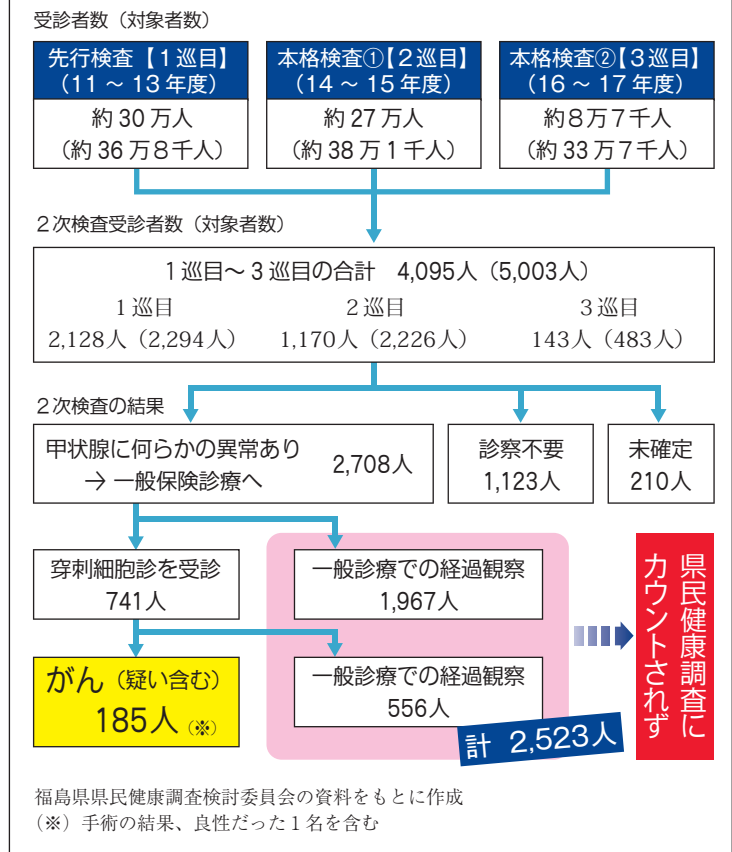
185人もの子どもたちが甲状腺がん（ないし疑い）と診断されている福島県県民健康調査。事故当時4歳の男児が、小児甲状腺がんの手術を福島県立医大で受けていたにもかかわらず、県民健康調査検討委員会の報告から除外されていたことが明らかになりました。

福島県立医大は、1次検査で「問題あり」と診断され、2次検査では「ただちに手術などは必要ない」として一般保険診療での経過観察となった2,500人以上もの子どもたちを、県民健康調査への報告から外してしまっているのです。

実際に、どれだけ子どもたちが甲状腺がんを発症しているのか、わざとわからないようにしていると疑わざるをえません。「がんの多発は過剰診断の結果」であるかのように言い、甲状腺エコー検査縮小の方向へと国と県が示し合わせて誘導しようとしているいまの動きを見ていると、疑いは確信に変わります。

被曝による健康被害が拡大する可能性が高まるのはむしろこれからです。一刻も早く甲状腺エコー検査はじめ、検診の拡充を急がなくてはなりません。

### 福島県の甲状腺検査をめぐる現状



### 福島県立医大HP「甲状腺検査についてのQ&A」

「症状等があり自主的に病院を受診し受けた検査、保険診療で甲状腺結節を経過観察している間に病変が変化したり新たな病変ができたりして受けた検査、何らかの病気で入院中または通院中に他の目的で受けた検査、市町村や各種団体等が独自に実施している甲状腺検査などで見つかった甲状腺がんは、「**県民健康調査「甲状腺検査」の「悪性ないし悪性疑い」数には含みません**」

**「避難は自己責任」「震災が東北でよかった」  
今村暴言を許さない！ 責任は安倍首相にある！**

今村・前復興大臣の暴言を絶対に許しません。そもそも、このような暴言が飛び出したのは、安倍政権が被災者・避難者切り捨ての「復興政策」「帰還政策」を進めているからです。すべての責任は安倍首相にこそあります。今村氏の「更迭」で何事もなかったかのようにして、帰還を強制しようとしている安倍首相を辞めさせましょう。